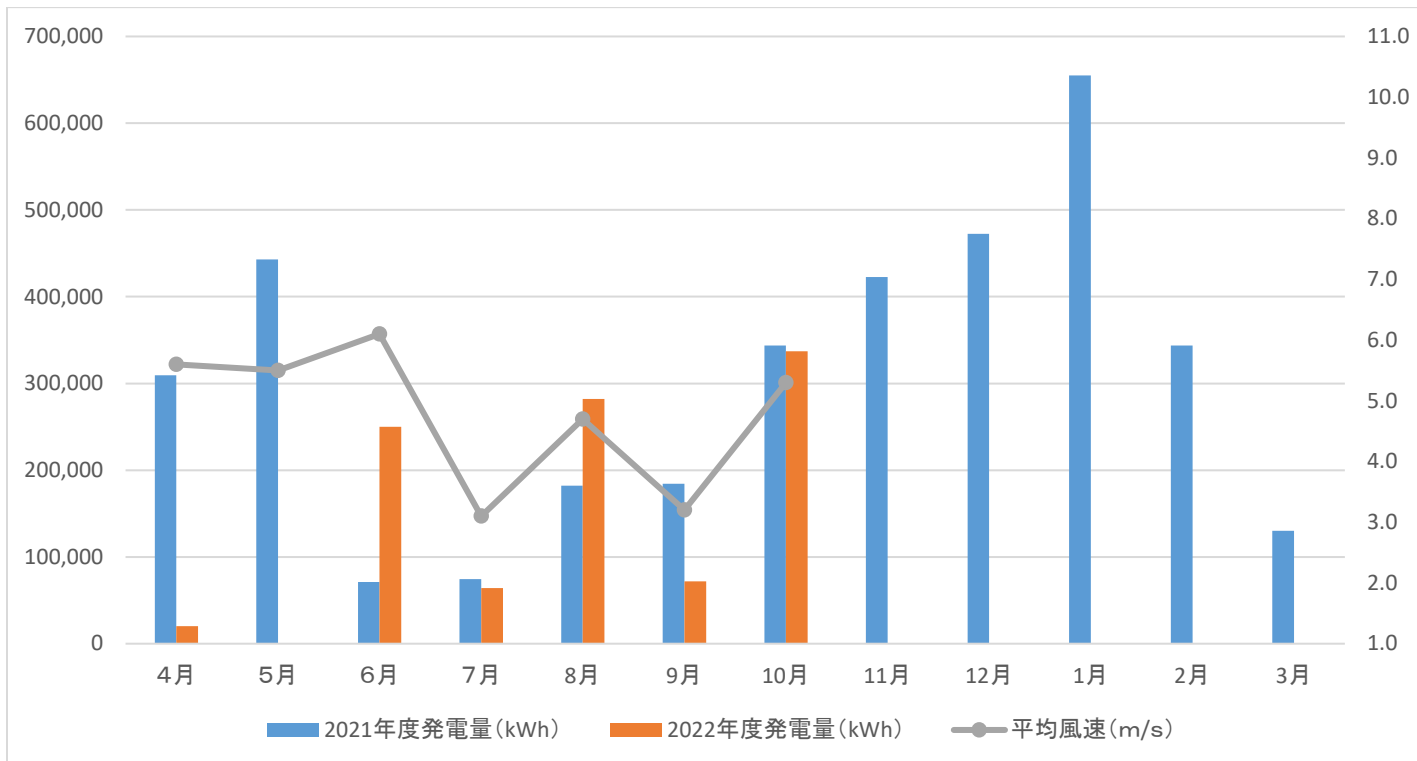


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 2022 年度発電実績



9月度運転状況について

- 風況は前年同月に比べ、1.1m/s 低い実績でした。
- 風況が弱かった事から発電量は前年比39.1%と低くなりました。
- 10.5年次点検、ロープを使ったブレードの点検、ピッチ旋回軸受インナーシール交換を実施しました。

10月運転状況について

- 風況は前年同月に比べ、0.2m/s 低い実績でした。
- 発電量は前年比98.1%となりました。



鳥海山は10/4に初冠雪を観測し、山岳観光道路「鳥海ブルーライン」も11月4日(金)雪のため、予定より早く冬期閉鎖(全面通行止)となりました。これから、風の強い季節になります。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	20,059	5.6	1.4
5月	0	5.5	0.5
6月	250,123	6.1	50.6
7月	64,236	3.1	97.7
8月	282,283	4.7	99.7
9月	72,029	3.2	84.7
10月	336,975	5.3	97.6
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

グリーンファンド秋田理事会報告

10月31日、グリーンファンド秋田の2022年度第2回理事会を開催しました。

主な議案は、上半期決算報告の承認、事務所移転と家賃の変更、旧増速機の保険求償と新増速機の対応報告等です。

上半期の売電売上は、増速機損傷による保安停止と交換工事実施と風況が弱かったため、前年比53.9%、計画比75.6%に留まりました。

(株)生活クラブエナジーの事務所移転に伴い、グリーンファンド秋田の事務所も移転します。移転先は、同じ人形町内です。移転日は2023年1月10日です。

新増速機の不具合については、高速軸受けの交換のための道具を中国のメーカー(NGC)で製作中で、風が強くなる前に交換を行う予定です。

生活クラブ首都圏4単協事務局リーダー研修開催報告

10/21(金)22日(土)に秋田県にかほ市と山形県遊佐町で事務局リーダー研修を開催しました。参加者は首都圏4単協の事務局15名と遊佐町共同開発米部会事務局長池田恒紀さん(1日目のみ)、グリーンファンド秋田代表理事(神奈川専務理事)半澤彰浩さん、事務局の鈴木です。

1日目(10/21)は、まず、生活クラブ風車夢風の見学を行いました。風車サイトで、にかほ市総合企画課の高橋潔さんにご挨拶をいただき、(株)市民風力発電の坂本史哉さんと高橋誠治さんに風車夢風の説明と見学を行いました。やはり、風車を実際に近くで見ると迫力があります。恒例のじゃんけん大会で勝ち抜いた、神奈川の米村良さん1名が、80m高ナセルに昇る事ができました。



写真後列右端から、市民風力・高橋さん、にかほ市役所・高橋さん、市民風力・坂本さん



タワーの中で説明の様子

その後、芹田自治会を訪問し、竹花勲自治会長、荒川定敏前自治会からご挨拶と夢風への想いと経過をお話いただきました。半澤専務を講師に、生活クラブエネルギー政策と、にかほ市での取り組み、生活クラブでんきについて学習会を行い、事前に頂いた質問に対して意見交換を行いました。

芹田地区での大豆の収穫は時間の関係で残念ながら見ることはできませんでしたが、芹田岬からの日本海に沈む夕日と風車を見ることができました。

2日目(10/22)は、まず、にかほ市で2基目となる生活クラブにかほ院内風力発電建設予定地を見学しました。建設地はにかほ高原に向かう中腹にあります。現在はまだ草地ですが、2024年11月に運転開始に向けて地質調査や風力発電機の発注などの準備をすすめています。

その後、「タラーメン」を作っている伊藤製麺所の工場見学を行い、伊藤実代表より、タラーメンの製造工程を説明頂きました。「タラーメン」は、生活クラブの組合員と一緒に2016年に共同開発し、デポーにかほフェアなど組合員との交流の中で2020年にスープのリニューアルを行っています。



風車建設予定地の様子

午後からは、山形県遊佐町に移動し、「箕輪鮭養殖場」「庄内・遊佐太陽光発電所」「庄内みどり農協・遊佐中央カントリー」を見学しました。

庄内・遊佐太陽光発電所では、発電所の管理をしている株CSSの菅原善悦さんより説明をいただきました。この発電所は、2019年2月より運転開始しており、31haの広さで設備容量18,000MWh(約5,700世帯分)を発電します。発電所事業の利益から毎年900万円を「庄内・遊佐太陽光発電所基金」に拠出し、地元の酒田市と遊佐町の食と農、エネルギーと福祉・たすけあいの活動や地域の文化の継承などに広く活用されています。



写真後列右から、CSS・菅原さん、JA庄内みどり遊佐支店・金子さん

神奈川・東日本大震災復興祭りに参加しました

11/12(土)「東日本大震災・復興祭り ともに生きよう! 2022」が横浜市みなとみらいの横浜臨港パークで開催されました。3年ぶりのリアル開催となった、当日は、晴天に恵まれ、おおぜいの組合員や生産者、被災地の団体が集いました。

グリーンファンド秋田は、タラーメンの調理販売で出店しました。伊藤製麺所の伊藤さん、グリーンファンド秋田の役員の方々に大奮闘いただき、用意した300食を完売しました。販売した利益は、復興カンパとします。

秋田県にかほ市からは、総合政策課の高橋さん、今野さんが参加され、三浦米太郎商店の三浦大輔さんと共に、にかほ市の物産の販売とにかほ市のアピールを行いました。かりんとう、バターもち、など人気がありました。



にかほ市から移住体験の紹介をいただきました。

風が吹くまち「にかほ市」の暮らし紹介

生活クラブ生協の皆さまにご活用いただいている風力の『風』が吹く秋田県にかほ市は、秋田の南、山形との県境に位置する、日本海の幸が豊富な海と、秀麗な百名山の鳥海山の間に位置する、海も山も両方楽しむ暮らしができるまちです。そんなダイナミックな自然の中に便利な都市機能があるにかほ市の暮らしをご紹介します。

にかほ市にはこんなに暮らしを楽しめるスポットがあります。



移住定住ポータルサイト

にかほ市



にかほ市ってこんな所にあります。

にかほ市のお仕事環境プチ情報

鳥海山の豊かな水資源を利用した稲作を中心とする農業や、伏流水が湧く日本海の豊富な水資源を活かした漁業、電子部品や生産用機械器具等の製造業(製造業者は150社)、自然や貴重な歴史・文化遺産に支えられた「観光」「医療・福祉」「卸売業・小売業」、「BPOサービスの外資系企業」など、働くことにおいてもバラエティーに富んだお仕事環境です。

こんな素敵な自然がいっぱいのかかほ市の暮らしをプチ体験できるお試し移住体験住宅があるっぺん♪

オーダーメイドの移住体験ツアーでは移住リエゾンさんたちがいろいろ案内してくれるっぺん♪



にかほっぺん

お試し移住体験住宅

1日1000円 2泊3日～6泊7日
家具家電や食器もついています。
『にかほ一む』の移住体験ページで動画やVR画像をご覧ください。

お問い合わせ先 : 商工政策課 ふるさと創造班
0184-43-7600

にかほ市 移住リエゾン

2020年度 住めない田舎ベストランキング 東北エリア総合部門・第4位

移住リエゾン、リエゾンとは「橋渡し」といいます。私たちリエゾンがみなさまを笑顔でサポートいたします。

子育てするなら「にかほ市」へ

1歳までの保育園無料認可
市内保育園・認定こども園の保育料・給食費を全額免除します。所得制限なし。

移住希望者登録制度

一般の方 学生の方

0184-43-7600

〒992-0192 秋田県にかほ市藤原7-5-1
TEL: 0184-43-7600 FAX: 0184-43-7519
E-MAIL: shikou@city.niikahoko.jp

私たち移住リエゾンがサポートしています♪

SNSでも色々なにかほ市の情報を発信してるっぺん♪
移住を考えている人にお知らせしてね。